

こんにちは

日本共産党
京都市会議員

Hori Nobuko
ほり信子です

URL <http://hori-nobuko.jp/> ✉ shikai@hori-nobuko.jp f @hori_nobuko



2月
市会報告

市長総括質疑で追及!

子どもの貧困対策は急務!!

国保の差し押さえ対象から 学資保険を外すべき

代表質問で、「子どもの貧困」の実態調査を求めています。議会の中で、「4月にプロジェクトチームをつくり実態調査を行う」と踏み込んだ答弁がありました。「子どもの貧困対策推進法」では、子どもが生まれ育った環境に左右されることのないよう対策を講じなければならないことから、国保の差し押さえ対象から「学資保険」を外すよう迫りました。「学資保険は差し押さへの禁止項目に入っていないが、子どもの養育についてはしっかり対応していく」との答弁でした。

全員制の中学校給食の実現を

4月に発足するプロジェクトチームについて、「食」に関わる調査を要求しました。「食育基本法」では、子どもたちに豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためには、何よりも『食』が重要であり、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育んでいく基礎となると書かれています。

選択制の中学校給食が始まって15年。就学援助受給世帯の喫食率や残菜量もとりあげ、また、一部で全員制の中学校給食が始まっていることから、施設・設備の改善と合わせて計画的に「全員制の中学校給食を」と要求しました。

右京区

地域の 仕事人

地域で要求実現に向けて
がんばっています。



毎日通る道路だからこそ、「歩きやすく」「安全で」「安心」して暮らしていける。その願いに少しでも寄り添いたいとがんばっています。

1

常磐野・下立売通り、
「段差」の解消

市民の
声

キャリーカーを押して
らくらく通れるように
なりました。



2

嵐山・「鹿王院」駅から南への道、
安全柵の修繕と
注意喚起のポール

市民の
声

目の悪い私は、
暗くなると用水路側を
歩けなかった。嬉しい。



社会保障と位置づけ、 国民健康保険料の引き下げを

国保加入者の実態から保険料の負担能力が高くないと述べ、2014年並の財政支援をすれば2年連続で国保料を下げられると主張しました。「昨年初めて引き下げを実施した。最大限の努力をした」との答弁です。

国民皆保険制度のもとで、「国保は社会保障の一環」という視点から、「受診する権利」「健康になる権利」を保障する「国保行政」をと求めました。

予算委員会・局別質疑

小中一貫校問題を追及

予算化されている「向島小中一貫校」の運動場の面積が基準より大きく下回っていること、京北地域の小中一貫校問題は十分な住民の合意ができていないことを指摘。文部科学省による統廃合の「手引き」をもとに、地域活性化のためにも「学校の存続が必要」と訴えました。

敬老の名にふさわしい 敬老乗車証制度を

市のホームページに「今年9月からの見直しは予定していない」と掲載されていることを確認。今年9月からも現行制度のままです。その上で、「応益負担」の考え方について質しました。わずか3～5日間程度のアンケートで、利用回数を調査。そして「利用状況が多様化し、利用の少ない方の便益が少ない」として、「応益負担の仕組みに転換」と結論づけています。

答弁では「IC化導入にあたり、負担金を廃止し、一定回数は無料に。低所得者に配慮した制度を検討」といいます。これでは、「敬老乗車証」が、ただの「サービス」になり、「敬老」の精神がなくなると訴え、改悪方針の撤回を求めました。

